

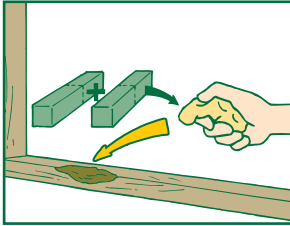
窓の補修

木製窓枠が腐蝕している 充てん剤で埋めましょう

1 ポロポロになった部分をドライヤーでかき落とし、エポキシ系充てん剤で埋めてください。

2 凹凸をサンドペーパー(#240ぐらい)で平らにならしてください。

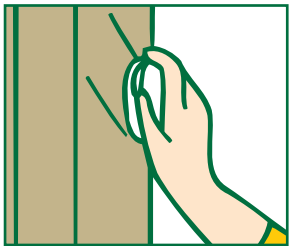
3 完全に乾いたら、水性つやあり塗料や水性外部用ステインを2回塗りしてください。



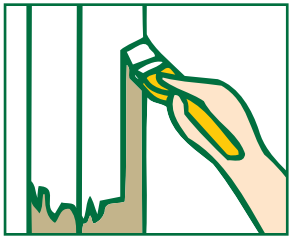
白木の柱の美しさを取り戻す方法

1 まず住まいの洗剤で洗う
住まいの洗剤を薄めて布につけ、それでよく柱をこすります。その後よくしぼった雑巾で拭き取り、もう一度水拭きしてください。

2 サンドペーパーで磨く
400番ぐらいのサンドペーパーに当て木をして、こすります。たいていの汚れはこれで取れます。



3 白木漂白クリーナーを塗る
それでも落ちない汚れは白木漂白クリーナーで取ります。敷居や畳におおいしてから、付属の混合器にA液とB液を等量入れて混ぜ合わせ、刷毛で塗ってください。塗ったらすぐにブラシで汚れをかき落とすようにこすり、汚れが浮いてきたら布で拭き取ります。

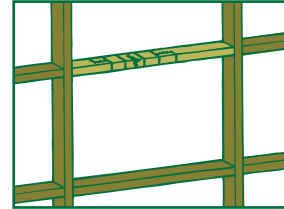


3 さらにもう一度、混合液を塗る
その後10分以上経ってから布で拭き取ってください。
※その後白木の木肌を守る塗料を塗っておくと汚れが付きにくくなります。新築の場合は入居したらすぐ塗っておくと効果的です。(直射日光のあたる場所は陽やけしますので避けてください。)

ここがポイント!

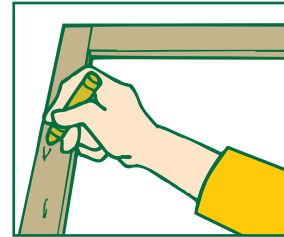
障子の棧が折れたら

すぐに折れ口に木工用接着剤を爪楊枝の先でいねいに塗り、ピタリ元通りの形にしてから、セロテープを巻き、乾くまで固定しておくことができます。



ふすまの枠のキズ修理

色の合う補修用チョークを塗ってください。凹部が深い場合は、エポキシ系接着剤をへらで埋めるようにして塗り、表面を平らにします。固まったら色の合った工芸うるし塗料を塗っておくといいでしょう。



サービスのご案内



配送・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

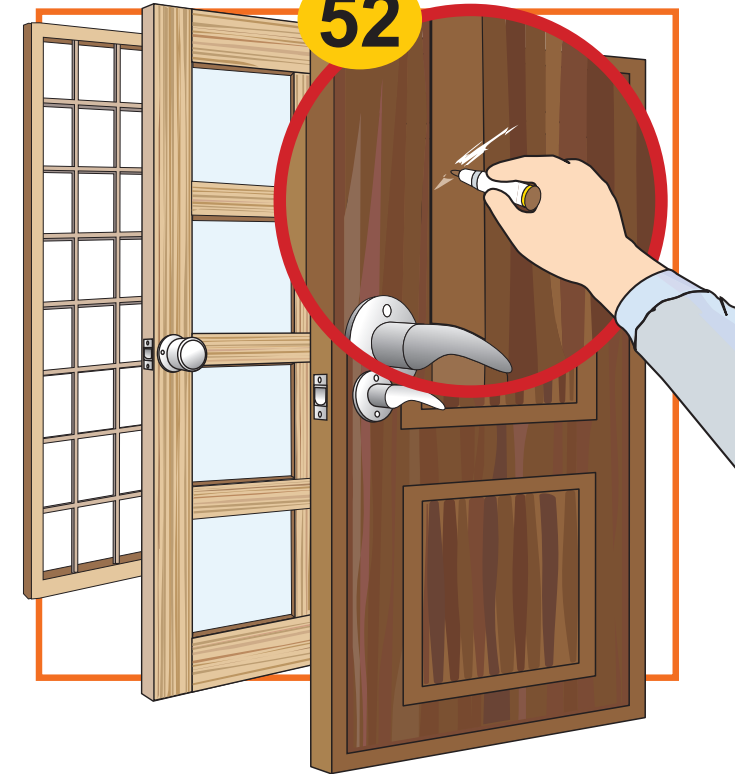
TEL.027-345-1111(大代表)

建具の補修と手入れ

自分でやってみよう!

セキチュー
How To D.I.Y

52



ふすまや障子のすべりが悪くなっていたり、がたつきてきたりしていませんか。
木製の建具はちょっとしたことですべりが悪くなり、がたつき始めますので、そうなった場合の対処方法をご紹介します。

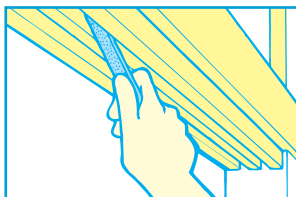
障子やふすまのたてつけを直す

開け閉めしづらい

1 敷居にロウを塗るか、敷居すべりテープを貼ってください。

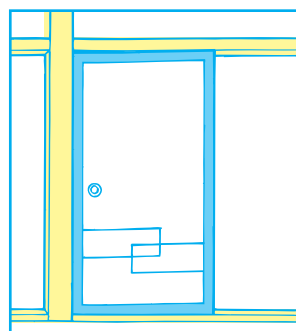


2 それでも直らない場合は、敷居の真ん中が下がっている場合が多いので、戸をはずして、80番ぐらいのサンドペーパーを、ミズの幅に切って木辺に巻きつけ、それで鴨居のミズを磨いてください。

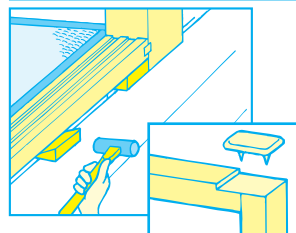


柱との間にすき間ができる

1 建物が少しゆがんできていて、敷居の片方がちょっと下がり気味になっている場合が多いので、すき間ができる反対側の下部にスライダーピンを打ちこんでみてください。厚みが足りないときは、厚み分の木片をまず木工用接着剤で止め、それにスライダーピンを打ちこんでください。逆にスライダーピンでは厚い場合は、建具の方を、カッターや80番ぐらいのサンドペーパーで少し削って調節してください。

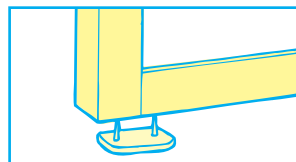


2 畳を上げて、敷居の下がった部分にクサビを打ちこんで、少し上に持ち上げるという方法もあります。



戸がはずれそう

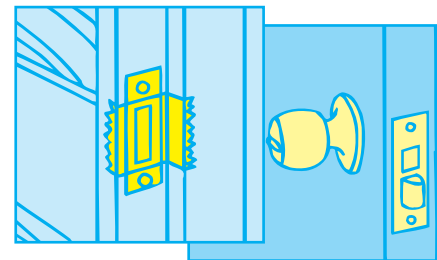
戸の下部がすり減っていますので、スライダーピンを、すり減っている部分に打ちこんでください。これですべりもよくなります。厚みが足りない場合は厚み分の木片を、木工用接着剤で止めてから、スライダーピンを打ちこんでください。



木製ドアの補修

ドアの鍵がかかりにくい 受け金具の位置をずらしましょう

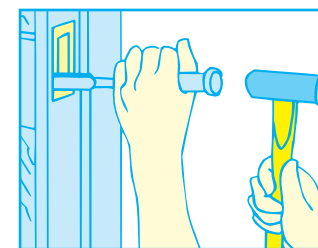
1 当たっている部分を調べる
マスキングテープを受け金具の上に貼り、ラッチに朱肉をつけ、そっとドアを開けて鍵を回します。朱肉のついているところを見ると、どこが当たっているかははっきりします。



2 受け金具をはずす
柱側についている受け金具をドライバーではずします。その下にある穴はだいたい大きめになっているので、多少受け金具を動かしても大丈夫です。



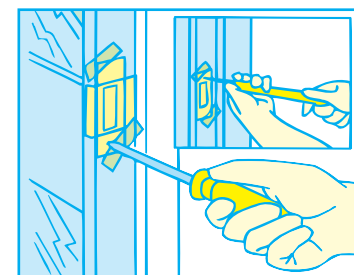
3 ずらす分を測る
受け金具の穴が足りない場合はその分だけ掘ります。ノミの平らなほうを穴の外側に向けて、掘る外周に刃先を当てながら、軽くカナヅチを当てて当たりをつけてから、後はノミでその中を削っていきます。



4 木ネジの穴を埋める
木ネジの穴をそのままにしておくと、元の穴に入ってしまうので、必ず埋めておいてください。その方法は、割り箸の先をカッターで削り、穴にピッタリ収まるようにしてから、穴の深さより3mmぐらい長く切り、木工用接着剤を塗ってから穴に差しこみ、カナヅチでたたきこみます。



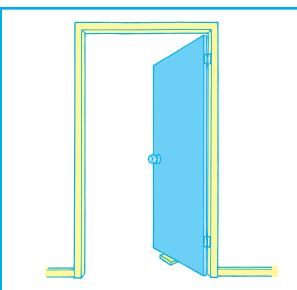
5 新しい位置に受け金具を取り付ける
受け金具をだいたい位置にずらしてマスキングテープで止め、ラッチにまた朱肉をつけて合っているかどうか確認してください。ずれていればその分だけ動かしてスムーズに閉まるのを確認してから、木ネジで止めますが、いきなりねじこむと曲がってしまうので、必ずネジ穴の中央にキリで深めの下穴を開けてからねじこむようにしましょう。



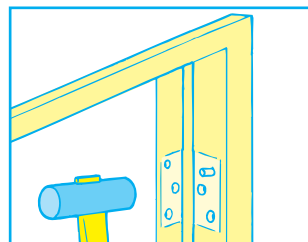
スムーズに閉まらない 丁番のネジを閉めましょう

上の木ネジがゆるんでドアが下がっている場合が多いので、ドライバーで締め直してください。しかしだいたいの場合、穴がゆるんでしまっているので、すぐにまた下がってきます。

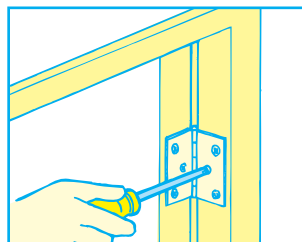
1 正常の位置まで持ち上げ、ドアの下にクサビを入れて固定してください。



2 ゆるんでいるドアの上の丁番のネジを全部はずして、鍵のかかりが悪くなったときに補修するのと同じ要領で、その穴を割り箸で埋めてしまいます。



3 キリで下穴を開けてから、丁番を木ネジで取りつけます。



ドアの合板がはがれてきた 接着して、クランプで押さえます

はがれている部分の汚れをよく取り、乾燥させてから2液性のエポキシ系の接着剤(ハイスーパー、クイックセット)を同じ量だけしぼり出してヘラでよくかき混ぜてから、はがれている部分に塗って貼り合わせ、クランプではがれてこないように圧着しておきます。

